

GUESTS.



池内了さん

なぜ日本は原発をやめられないのか
—上関原発計画から日本の核政策を考える—

1944年兵庫県生まれ、1972年京都大学大学院理学研究科物理学専攻修了、理学博士。国立天文台教授、名古屋大学等を歴任。現在は、名古屋大学及び総合研究大学院大学名誉教授。専門は宇宙物理学・宇宙論、科学技術社会論。

著書に、『科学者と戦争』（岩波新書）、『ヒトラーと物理学者たち』（共訳、岩波書店）、『科学・技術と現代社会』（みすず書房）、『科学の限界』（ちくま新書）、『核を乗り越える』（新日本出版）など多数。



花輪伸一さん

海を壊すな

—田ノ浦埋め立てによる環境破壊—

1949年仙台市生まれ。東北大学理学部生物学科卒業、東京農工大学農学研究科修了後、日本野鳥の会、WWFジャパンに勤務。退職後も、沖縄の自然保護と軍事基地問題、各地の湿地保護に取り組む。沖縄環境ネットワーク世話人。



氏本長一さん

現地報告

いわしま

祝島発『懐かしい未来』

1950年山口県祝島生まれ。

2007年から祝島で、完全放牧養豚や水稲、果樹、野菜の有機栽培に取り組みながら地産地消の「こいわい食堂」を営業。「氏本農園」代表。

一般社団法人「祝島千年の島づくり基金」理事。

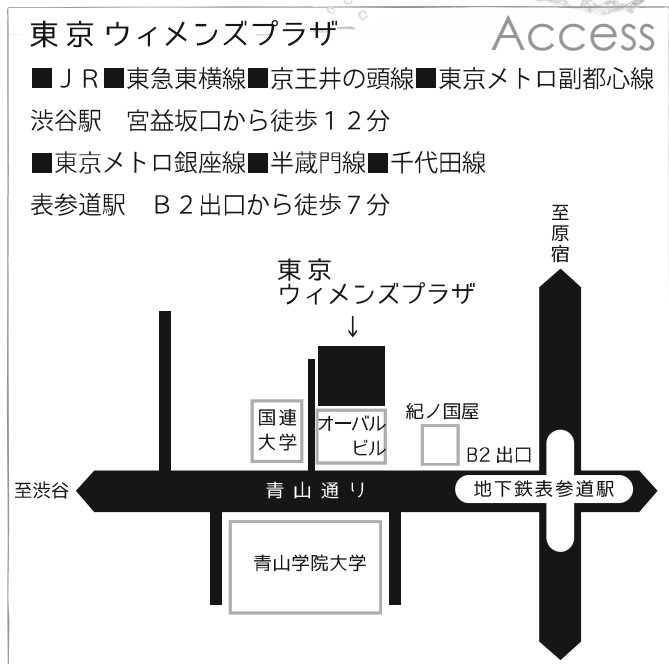
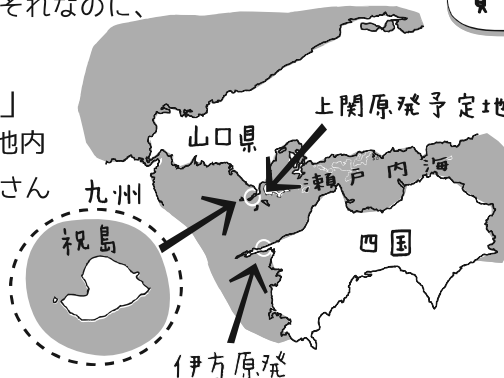
いらんじゃろう! かみのせき 上関原発

瀬戸内海西部、山口県上関町に原発建設計画が持ち上がって35年目。祝島の人びとの島をあげた根強い反対で工事も海の埋め立ても食い止めています。中国電力は原発建設をあきらめていません。

東京電力福島第一原発事故で、私たちは人間の力ではコントロールできない核の危険性に気づいたはずでした。それなのに、なぜ日本は原発をやめられないのでしょうか？

「もう、原発なんていらんじゃろう！」

この問題について、広く地球環境の観点から池内さんにお話しいただき、また、祝島の氏本長一さんに現地の状況を、そして、花輪伸一さんに貴重な上関の自然環境についてお話しいただきます。皆さん、ぜひおいでください。



賛同者募集中!

- 個人1口 1,000円
- 団体1口 3,000円

【賛同先】
郵便振替口座
00130-3-338139
加入者名 上関どうするネット